

# 令和5年度調査研究フォーラムについて

協会けんぽ加入者の健康増進や医療費適正化等の取組やその取組のベースとなる調査研究で得られた知見を内外に発信するため、下記のとおり調査研究フォーラムを開催する。

【日 時】令和5年6月6日（火） 10時～16時

【会 場】一橋講堂（当日ライブ配信と後日アーカイブ配信を実施予定）

【テーマ】持続可能な医療保険制度を目指して

【講 演】

<午前>

## 1. 外部有識者を活用した委託研究（第Ⅱ期）『中間報告1年目』

- ① 摂南大学 小川俊夫 教授 『生活習慣病の疾病別医療費の地域差に関する研究』
- ② 東北大学 藤井進 准教授 『支部単位保険料率の背景にある医療費の地域差の要因に関する研究』
- ③ 岩手医科大学 丹野高三 教授 『機械学習を用いた生活習慣病の治療行動予測モデルの構築』
- ④ 東京大学 飯塚敏晃 教授 『予防医療が本人と家族に及ぼす効果に関する研究』
- ⑤ 京都大学 井上浩輔 助教 『メンタル疾患・生活習慣病の発症リスク削減、医療費適正化に向けた機械学習予測モデルの構築と因果推論』

## 2. 支部による分析・取組事例

- ① 長野支部 『健診機関による早期受診勧奨の状況調査』
- ② 三重支部 『特定保健指導における行動変容と個人特性（性格）との関連性』
- ③ 静岡支部 『バイオ医薬品の使用実態と後続品差額通知基準の検証』

※この他、ポスター発表6件（北海道支部、青森支部、秋田支部、富山支部、奈良支部、宮崎支部）

# 令和5年度調査研究フォーラムについて

<午後>

## 3. 外部有識者を活用した委託研究（第Ⅰ期）『最終報告』及び『総合討論』

### ①慶應義塾大学 勝川史憲 教授

『機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と特定保健指導の効果判定に関する研究』

### ②国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター 磯博康 センター長

『生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による予防効果に関するコホート研究』

### ③上智大学 中村さやか 教授

『医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明：健康状態と治療の質を考慮した医療費適正化を目指して』

### ④京都大学 福間真悟 准教授

『エビデンスに基づく保険者機能の強化：ラーニング・ヘルスシステム』